

赤塚河岸町会

郷土資料館の文献に、早瀬の渡し付近にあった河岸が赤塚河岸で、大正11年ごろまで営業していたが、東上線が開通して荷が減り、荒川改修工事等にもない移転を余儀なくされ、現在地（現新河岸三丁目）に昭和10年ごろ移り廃業した。という記述があります。

赤塚河岸町会は当時の名前を採用したのでしょうか？町会は、新河岸三丁目と三園二丁目とで構成され、新河岸川と笹目橋で分断された特殊な立地の町会です。

地域センターも高島平と舟渡に分かれており、どちらの町も板橋区のどん詰まりに位置して公共交通機関に恵まれてなく、ひっそりと生活しており発展は望めない現状です。平成20年町会連合会の「みまもり事業」として、町会主体で高齢者の「ひきこもり」「とじこもり」をなくし積極的に社会参加する目的の高齢者事業「熟年サークル」を立ち上げました。現在は、新型コロナ禍活動を中止しています。

いろいろな難題も経験した町会ではありますが、平成28年に町会発足60周年を迎えました。これからも板橋区及び町会連合会のご協力をいただき、町会会員一致団結してまいりますので宜しくお願い致します。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています